

坂井市三国町内におけるムラサキツバメの記録

梅村信哉^{*1}

要旨：筆者は福井県坂井市三国町内で、2018年7月25日および8月1日にムラサキツバメのオスおよびメスを採集した。

キーワード：ムラサキツバメ，福井県，坂井市三国町

Shinya UMEMURA^{*1}. 2019. A record of *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) from Mikuni-cho, Sakai City, Fukui Prefecture. *Ciconia* (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 22: 31-32.

Two males and two females of *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) were recorded from Mikuni-cho, Sakai City, Fukui Prefecture on 25 July and 1 August, 2018.

Key words: *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862), Mikuni-cho, Sakai City, Fukui Prefecture

ムラサキツバメ *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) はチョウ目シジミチョウ科 (Lepidoptera: Lycaenidae) に属する開張 3.5 ~ 4cm ほどの大型のシジミチョウである。国内では 1980 年代までは近畿地方以西に分布しており (福田ほか 1984)，東日本では 1996 年に神奈川県で記録されて以降，98 年に静岡県・群馬県，99 年に千葉県・愛知県，2000 年に東京都・埼玉県・茨城県，2001 年に栃木県・山梨県・福島県に分布を広げ，2004 年には岐阜県・長野県に勢力を拡大した (井上 2011, 2016)。北陸地方では，1992 年に石川県で初めて観察され (富沢 1997)，その後記録がなかったものの，2005 年に金沢市などで発生地が見つかり，その後一時的な発生が断続的に確認されているほか (松井 2016)，富山県でも 2017 年に富山市内で確認されている (加藤 2017)。福井県では，2014 年にあわら市刈安山で見つかったのが本種の初記録と考えられるが (石 2015)，県内での観察例ははまだ非常に少ないと思われる。筆者は，2018 年に坂井市三国町内で本種を確認したので (図 1，図 2)，下記のとおり報告する。

ムラサキツバメ *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862)

坂井市三国町黒目，2♂ 1♀，25-VII-2018，梅村信哉採集・福井市自然史博物館所蔵 (FCMNH-JI25183-25185)

坂井市三国町黒目，1♀，1-VIII-2018，梅村信哉撮影

本種の食草はマテバシイ *Lithocarpus edulis* またはシリブカガシ *L. glaber* にほぼ限られており (福田ほか，1984)，近年の分布拡大には街路樹や公園へのマテバシイの植樹と，都市部ではマテバシイの剪定などの管理が頻繁に行われることで，ムラサキツバメの幼虫が餌として利用する新芽が春から秋遅くまで継続して発生する (小山・井上 2004) ことが関連している可能性が指摘されている (井上 2016)。本県でも，マテバシイの植樹された公園などで調査を行えば，さらに成虫の確認記録は増加するだろう。

井上 (2011) は，北陸地方はまだ本種の常時越冬可能な地域とはなりえていないと指摘しているが，松井 (2016) は条件が整えば石川県でも本種が越冬する可能性があるとして指摘している。本種は成虫で越冬し，越冬個体は春に交尾，産卵を行うことが知られており (白水 2006)，冬季の成虫および春季から初夏の幼虫の探索も含めて，本県でもさらに発生状況の調査の継続が必要である。

本稿の投稿にあたり，様々な便宜を図っていただいた福井県自然保護センターの國永知裕氏に心より御礼申し上げます。

* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: sumemura@ma.city.fukui.lg.jp

1 福井市自然史博物館 〒918-8006 福井県福井市足羽上町 147
Fukui City Museum of Natural History, Asuwakami-cho 147, Fukui, Fukui 918-8006, Japan.



図1 ムラサキツバメのオス（左）とメス（右）。
坂井市三国町黒目，25-VII-2018，梅村信哉採集・福井市自然史博物館保管（FCMNH-JI25183，25184）



図2 ムラサキツバメのメス（坂井市三国町黒目，1-VIII-2018，梅村信哉撮影）。

引用文献

- 福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之．1984．原色日本蝶類生態図鑑（Ⅲ）．保育社，大阪．
- 井上大成．2011．ムラサキツバメの分布拡大と生活史．積木久明（編）地球温暖化と南方性害虫．北隆館，東京．pp. 72-83．
- 井上大成．2016．様々な要因によるチョウの分布拡大．井上大成・石井 実（編）チョウの分布拡大．北隆館，東京．pp. 8-32．
- 加藤治好．2017．富山県でムラサキツバメを確認．月刊むし（562）：4．
- 小山達雄・井上大成．2004．関東地方北部におけるムラサキツバメの発生経過．昆虫ニューシリーズ7：143-153
- 松井正人．2016．石川県におけるチョウの分布拡大．井上大成・石井 実（編）チョウの分布拡大．北隆館，東京．pp. 231-242．
- 石 雅和．2015．福井県でムラサキツバメを採集．月刊むし（527）：55．
- 白水 隆．2006．日本産蝶類標準図鑑．学研教育出版，東京．
- 富沢 章．1997．国分五男氏の採集記録から．翔（124）：1．